



一直線

12増刊月号 狭山市立西中学校 学校だより

学校教育目標

～自主的に考え、
正しく行動できる生徒～

○挨拶 ○清掃 ○素直
文責 校長 平沼 尚

☆ 充実した冬休みに ☆

体育祭や音楽会など行事も多く長かった二学期も終わりました。明日から14日間の冬休みです。その間の生活を子供たちがしっかりと考えて計画を立て充実した毎日を送って欲しいと考えます。なぜならば、この冬休みの生活こそが、卒業や進級を控えた大切な三学期の準備をする時期だからです。「一年の計は元旦にあり。」というように、この時期の準備や決意はとて大切なのです。

そして、年末年始は子供たちに何か仕事をさせてみてください。家族の一員としての自覚も高まります。くれぐれも健康と交通事故などには十分注意してください。



☆ なんでも頑張る西中生 ☆

女子バレーボール埼玉県西部地区優秀選手1年
ソフトボール埼玉県強化選手・彩の国ジュニアアスリートアカデミー選手：2年

☆ それぞれの卒業と進級に向けて ☆

中学校での3年間は子供から大人への過渡期にあたり、心身共に成長の著しい時期です。とくに友人関係や勉強、部活動などで悩んだり、大人にとっては他愛もないことにも深く傷ついたり、家族、友人、そして教師などからも影響を受けやすい多感な時期なのです。

どの学年の子供たちもこの1年間を振り返ると大きく成長したなど感じる面が多く見られます。進級や卒業に向けて、自分を磨き、鍛え、さらにたくましく成長して欲しいと思います。とくに、3年生は進路選択という大きな課題に直面しています。目先の進路だけにとらわれず、10年、20年先の自分がどうか、生き方はどうなのかを考えられるようにして欲しいと思います。

それぞれの卒業と進級に向けて、特に学校で支援したいことは、①基礎学力の定着を図る。②進路指導の充実を図る。③学校行事、学級活動を通じて多くの経験を積めるようにする。④楽しい学校生活、楽しい学級づくりを目指す温かな人間関係づくりに努める。⑤生徒の健康に留意し、快適で安全な環境づくりに努める。の5点です。

そして、特にご家庭で協力していただきたいことは、①善悪の判断を、折に触れ子供に話して下さい。②人生観、職業観や生き方、将来の夢や希望を、ぜひ御家庭で話し合ってください。③家

庭と学校との連携を大切にしてください。の3点になります。

では、進級に向けて具体的にどうすればよいのでしょうか。まずこの冬休みに、4月から12月までの学習について考えさせましょう。

ア 授業中の取り組みについて

- ・発言しているか。
- ・私語はなく集中できているか。
- ・ノートはしっかりと取れているか。
- ・実技教科の取り組みはどうか。



そして、次に学校生活について考えさせましょう。

- ・清掃にはしっかりと取り組めていたか。
- ・忘れ物はなかったか。
- ・部活動にしっかりと参加できたか。
- ・学校生活のきまりや、ルールを守れたか。
- ・友達と仲良くできたか。
- ・自分の仕事を(生徒会、委員会、係りなど)責任を持って果たせたか。
- ・体育祭、文化祭などの学校行事にしっかりと参加できたか。
- ・学年やクラスをよりよくしていこうと前向きに協力できたか。

イ 家庭での学習の取り組みについて

- ・予習・復習ができているか。
- ・宿題は忘れず、あきらめずにできたか。
- ・定期テストの学習は計画的にでき、その成果は上がったか。
- ・学習方法に問題はないか。



☆ スマホ・ケータイについて考える ☆

「中学生にスマホ(ケータイ)は必要か？」との議論はよくあります。最終的には保護者の方の判断になりますが、学校としては「中学生には必要ない」という考えです。スマホ・ケータイを持つことで回避される危険や利便性より、持つことで生まれるリスクの方がはるかに大きいと考えます。下記は、ケータイやスマホ所有者(10~18歳)対象のある調査結果の一部です。

- 面識がない人とメールなどをしたことがあると答えた中学生 (58.1%)
- 使用するようになってから高校生が経験したこと
寝不足(25.2%)、頭痛などの体調不良(17.5%)、イライラするようになった(15.5%)
- 中学生が経験したトラブル
嘘の噂を広められた(30.0%)、仲間外れにされた(33.4%)
無断で写真・個人情報をあげられてしまった(16.7%)
- インターネット上での違法行為について認識していない割合
男子中学生(60.2%)、女子中学生(64.1%)、親(50.4%)



本校でも、LINE や Twitter などの SNS 関連のトラブルが何度となく報告されていますが、それにつきましては基本的に、ご家庭の責任での解決をお願いしています。もし、スマホ・ケータイを持たせた場合は、各ご家庭で責任を持って約束やルール、あるいは利用法についてご指導お願いいたします。

スマートフォンや携帯電話は使い方を一歩間違えると非常に危険なものになってしまいます。「もしかすると触法(犯罪)行為に発展していたかも・・・」などと心配される事案もあります。

本日、平成29年度に狭山市PTA連合会並びに狭山市教育委員会が作成しましたリーフレット【携帯電話・スマートフォン等が招く危険から子供を守るためのガイドライン】を再度配付しました。大切な内容ですので、ご一読いただき参考にしてください。